

5 令和6年度の主な取組の成果について

「彩りあるまち」の実現 ～輝く個性と楽しさがあふれるまち～

1 彩りある「時」をつくる

(1)文化芸術やスポーツの振興

○ ⑧文化芸術次世代育成事業「TRY ARTs」 6,000千円

若者の文化芸術活動の活性化や、子どもや若者が文化芸術に触れる機会の充実を図るため、若者が主体となって実施する事業や、子どもをはじめ若い世代を対象にした事業に助成を実施した。

○ ⑨新世代応援「Challenge Music Stage」 2,000千円

若者が活躍・成長する機会やまちの賑わいを創出するため、「北九州ミュージックプロムナード」の中で、若い世代がまちなかのステージでパフォーマンスを披露する場を設けた。

○ 優れた文化・芸術との“出会い”創造事業 6,494千円

感受性の豊かな幼少時から優れた音楽や美術、伝統芸能等に多くの子どもたちが触れる機会を作るため、学校における箏などの伝統芸能の体験授業や、放課後児童クラブ等での音楽コンサート、日本舞踊やいけばな等を体験できる子ども文化ふれあいフェスタを実施した。

○ 北九州国際音楽祭 32,332千円

地域の音楽文化の向上を図るため、世界最高峰のピアニストや海外のブラスバンド、北九州市ゆかりのアーティスト率いるオーケストラによる公演を行ったほか、小中学生の鑑賞教室など、多彩なプログラムを開催した。

○ 芸術文化活性化事業 78,748千円

北九州芸術劇場や響ホールが持つ特性を活かし、多彩で良質な音楽や舞台芸術等を提供した。

○ 芸術文化育成負担金・補助金 35,212千円

北九州市の文化水準の向上及び地域文化の振興を図るため、積極的に文化活動を展開している文化団体等の事業に対して、助成を行った。

○ 北九州市東田ミュージアムパーク関連事業(局所管分) 23,738千円

うち いのちのたび博物館大規模特別展開催事業 等	17,060千円
うち ⑨インバウンド誘致に向けた魅力アップ事業	2,000千円
うち 北九州市東田地区ミュージアムパーク創造事業	4,678千円

いのちのたび博物館を中核に、文化施設や商業施設等が連携し、施設の魅力向上のほか、東田地区を中心とした地域の活性化や観光客の誘客に向け、特別展の開催や博物館ホームページの改修を行った。

また、いのちのたび博物館について、展示の更新や来館者目線に立った案内掲示の改善などのリニューアルを行った。

○ ⑩世界遺産改修事業 195,970千円

世界遺産の構成資産である旧鍛冶工場は、耐震性の不足や老朽化による腐食が顕著に進んでいるため、耐震補強及び外観整備工事に係る費用を補助し、世界遺産の保護・保全に着手した。

○ ⑪美術館デジタルアーカイブ化事業 11,988千円

収蔵作品などのデジタルコンテンツを作成し、市内20校の小学校でオンライン・ミュージアム・ツアーを試行実施するとともに、大分市美術館等と連携し、磯崎新建築のアーカイブをホームページで公開した。

○ 美術館企画展開催事業 78,910千円

入館者の増加に向けて、春季の開館50周年記念「横山大観展」、秋季の「大コレクション展」など、魅力的な企画展を開催した。

○ 博物館企画展・特別展充実事業 53,523千円

入館者の増加につながる、魅力ある大型特別展を開催し、本市の学術文化の発展を図るとともに、東田地区のさらなる賑わいを創出した。

○ スペースLABO(北九州市科学館)普及事業 182,363千円

集客力の高い企画展やプラネタリウム番組などの魅力あるコンテンツの実施により、主に親子づれや観光客を呼び込むことで、東田地区全体の賑わいを創出した。

○ 松本清張記念館普及・研究センター事業 10,708千円

松本清張の「人と作品」を広く紹介するため、企画展や講演会の開催、読書感想文コンクールなどの市民文芸活動支援事業を行った。また、研究センター機能を果たすため、調査研究、研究奨励事業、研究誌の発行等を行った。

○ 文学館普及研究事業 13,224千円

北九州ゆかりの文学者や著名作家の業績を企画展等で紹介し、本市の文芸文化の振興を図った。

○ 子どもノンフィクション文学賞 8,710千円

子どもたちが体験した出来事や取材したことを「ノンフィクション」として書くことで、人々や社会への関心をもつ契機となり、思考能力や人間としての成長を促すことを目的に文学賞を実施した。

○ 林芙美子文学賞 9,499千円

多くの文学者、作家を輩出した北九州市の豊かな文学的土壌を全国に発信するとともに、これから文壇デビューを目指す新たな文学の才能を発掘することを目的に文学賞を実施した。

○ 北九州市漫画ミュージアム普及事業 46,299千円

漫画ミュージアムの常設展示の充実及び企画展・イベント等の実施により漫画文化の普及を図った。

○ 令和6年度全国高等学校総合体育大会開催事業 13,289千円

本市で開催された自転車(トラックレース)、体操(体操競技・新体操)の2競技3種目について、開催経費の一部を負担した。

○ ⑨北九キッズスポーツマンズプロジェクト事業 3,380千円

子どもたちに多くのスポーツを体験してもらうための集中月間を設定し、期間中に多彩なスポーツ関係団体による体験会等を実施するほか、有名アスリート等を招聘したオープニングイベントを開催した。

○ ギラヴァンツ北九州支援事業 35,000千円

本市のシンボルチーム「ギラヴァンツ北九州」を支援するため、ホームゲーム開催経費や遠征費の一部を補助した。

○ ホームタウン推進事業 53,558千円

市民の「みる」スポーツの機会の創出やスポーツによるにぎわいづくりを図るとともに、体験教室等の開催を通じて、市が支援するトップスポーツチームが地域に愛されるチームとなるよう、ホームタウン活動を推進した。

○ ⑩スポーツコミッション事業 6,423千円

スポーツを通じた地域活性化を図るため、「北九州スポーツコミッション」を設置し、行政・観光関連企業・スポーツ団体等の官民ネットワークの強化を図るとともに、武道体験等のコンテンツ創出やアーバンスポーツの普及に向けたモデル事業等を実施した。

○ 大規模国際スポーツ大会等誘致事業 9,529千円

スポーツによるまちの活性化を目的とした大規模国際スポーツ大会や代表チームのキャンプの誘致・開催支援を実施した。

○ ⑪国際スポーツ大会等開催事業 149,864千円

「パルクール世界選手権」、「WTTファイナルズ」及び「ツール・ド・九州2024」等の大規模な国際スポーツ大会の開催支援を実施した。

○ 北九州マラソン開催事業 74,055千円

本市の魅力を全国に発信するとともに、スポーツによるまちのにぎわいづくりやスポーツの振興などを目的に「北九州マラソン」を開催した。

(2)エンターテインメントによるにぎわいづくり

○ ⑧エンターテインメントによるにぎわいづくり推進事業 44,552千円

グローバルに「日本一若者を応援するまち・北九州市」を発信するため、二十歳の記念式典において、エンターテインメントの力を活用した若者応援特別イベント「20th応援フェス」を実施した。

また、「映画の街・北九州」のさらなる発展のため、北九州国際映画祭2024を開催し、北九州市から世界に羽ばたいていった映画や映画人と市民とが交流する機会を創出した。

○ ⑨eスポーツ振興に関する調査・研究等事業 1,991千円

国内外で、さらなる発展、市場の成長等が期待されているeスポーツを活用した取組などについて調査・研究を行った。

○ 映像製作誘致強化関連事業 5,522千円

北九州市の都市イメージ向上と交流人口の拡大等による地域経済の活性化等を図るため、国内外の映画・テレビドラマなど46件の撮影を支援した。

(3)観光資源の磨き上げや発信の推進

○ インバウンド誘致強化事業 118,144千円

外国人観光客の本格的な回復に向けて、周辺自治体等と連携した各種プロモーションや広報物の多言語化、団体向け宿泊助成等を実施した。また、福岡空港等から入国したインバウンド需要を取り込み、市内での消費拡大を図るため、市内周遊クーポンの配布や宿泊付き商品の販売等、「ウェルカム北九州！キャンペーン」を実施した。

○ ⑨西日本・九州ゴールデンルート構築事業 26,394千円

陸・海・空の交通の要衝である地理的優位性を活かして、関西・中国・四国地方の自治体と連携し、関西～北九州の広域周遊ルートを構築し、外国人観光客の誘致を促進した。

○ ⑨満喫☆北九州！スシ&キャッスル+ステイ促進事業 4,127千円

小倉城天守閣において、すしを食べるプレミアムイベントを実施したほか、市内すし店舗のガイドブック制作や、寿司の定額クーポンの販売を支援し、すしをフックに「食」を通じた集客促進・観光消費の拡大を図った。

○ ⑨稼ぐ観光に向けた観光データ活用基盤整備事業 16,068千円

観光動態調査に加え、デジタル技術を活用したデータ分析を行い、エビデンスに基づく観光振興策の評価や、効果的な施策立案に活かすとともに、今後の観光関連データの収集・分析手法の確立を図った。

○ COOL KITAKYUSHU 推進事業 30,512千円

北九州市の都心集客の拠点となるJR小倉駅新幹線口を中心に、漫画・アニメ・ゲーム等のポップカルチャーによる大型イベント等を開催し、誘客やクリエイター産業の交流・育成を図った。

○ TGC北九州2024開催事業 35,000千円

史上最大級のファッションフェスタ「東京ガールズコレクション」とコラボレーションした「TGC北九州」を実施するとともに商業施設や商店街、周辺イベントと連携し、市内周遊促進を図った。

○ ⑨門司港の地元消費アップ！促進事業 17,183千円

地元飲食店やホテル事業者等と連携した夜間帯の魅力発信や修学旅行の誘致件数増加に向けたインセンティブの創設などにより、門司港の地元消費アップを促進した。

○ ⑧福岡・大分デスティネーションキャンペーン関連事業 16,000千円

全国のJRグループと地元自治体等が共同で実施する国内最大級の観光誘致キャンペーンの開催地として、令和6年4月～6月の間、地元の交通事業者等と連携してプロモーションに取り組み、門司港レトロの魅力を発信した。

○ ⑨カモン関門！ぐるっと満喫事業 5,403千円

関門海峡を中心とする関門地域を一つのエリアと捉え、関門周遊切符に飲食店等のクーポンをセットにした商品造成を行うとともに、関門エリアへの誘客に向けて、下関市との関門連携による国内外でのセールス活動などを実施した。

「安らぐまち」の実現 ～誰もがつながるアットホームなまち～

1 生活基盤の「安心」を支える

(1)災害などに強いまちづくりの推進

○ 体育館(予定避難所)空調設備整備事業 370,351千円

体育館の暑さ対策や、避難所としての環境改善のため、小倉北体育館、小倉南体育館及び的場池体育館の空調設備工事及び新門司体育館、曾根体育館、八幡東体育館の空調設備設計を行った。

2 暮らしの「安心」を支える

(1)生涯現役に向けた健康づくりや社会参加の促進

○ 若松体育館等改修事業 144,869千円

PCB廃棄物処理事業の継続を受け、若松区を中心とした地域振興策として、若松体育館、若松武道場、折尾スポーツセンターに空調設備を設置した。

○ 大里地域スポーツ複合公共施設整備事業 44,146千円

大里地域のモデルプロジェクト再配置計画に基づき、スポーツ施設ゾーンの複合公共施設の整備に向けて、施設計画の条件整理やライフサイクルコストを見据えた環境性能及び民間事業者へのヒアリング等による事業の実現可能性の調査・検討を行った。

○ ⑨ 桃園武道場維持管理経費 12,119千円

桃園公園の施設再配置計画に基づき整備を進めてきた桃園武道場の供用を開始した。

6 令和7年度 指定管理者の評価結果について

【次回選定に向けた評価】

施設名	指定管理者	指定期間	評価結果	担当課
1 九州鉄道記念館 (北九州市旧九州鉄道本社)	九州鉄道記念館運営共同企業体 ・ JR九州サービスサポート (株) ・ (株) JTB ・ JR九州エージェンシー (株)	令和5年4月1日 ～ 令和8年3月31日	B	門司港 レトロ課

【中間評価】

施設名	指定管理者	指定期間	評価結果	担当課
2 北九州芸術劇場、響ホール ・ J:COM北九州芸術劇場 (北九州芸術劇場) ・ 響ホール	(公財) 北九州市芸術文化振興財団	平成31年4月1日 ～ 令和7年3月31日	B	文化 企画課
3 北九州国際展示場・会議場 ・ 西日本総合展示場新館 (北九州国際展示場) ・ 北九州国際会議場	(公財) 北九州観光コンベンション協会	平成31年4月1日 ～ 令和7年3月31日	B	MICE・ メディア芸術課
4 ミクニワールドスタジアム北九州 (北九州スタジアム)	(株) ウィンドシップ北九州	平成29年2月1日 ～ 令和14年3月31日	C	スポーツ 振興課

【評価のランク設定】

- A：総合評価の結果、優れていると認められる。 (合計得点が80点以上)
 B：総合評価の結果、やや優れていると認められる。 (合計得点が70点以上80点未満)
 C：総合評価の結果、適正であると認められる。 (合計得点が60点以上70点未満)
 D：総合評価の結果、努力が必要であると認められる。 (合計得点が50点以上60点未満)
 E：総合評価の結果、かなりの努力が必要であると認められる。 (合計得点が50点未満)
- ※ 指定管理者が市の要求水準どおりに指定管理業務を行った場合、評価は「C」となる。